

エコニュース さって



第 48 号

平成 25 年 4 月 3 日
幸手市市民環境会議
(さって市民環境ネット)
TEL48-0331

第 7 回 子育て応援まつり “遊&愛”

報告：小谷

前回同様、来場者に大いに楽しんでももらいました。！

日時：平成 24 年 12 月 9 日（日）AM 10 時～PM 3 時

場所：ウエルス幸手 コーナー：約 25 コーナーが設置される

来場者数： 800 人（主催者発表） 我がコーナーの当日スタッフ：6 人

会場全体の飾りつけは事前に沢山の方の参加で、昨年よりも工夫され良く準備されました。当日は朝早くから我がコーナに於いても会の活動報告の展示と手作り工作及び映写会の準備に取り掛かり何時もながら忙しく時間に追われながらも来場者に楽しんでもらいたい気持ちで作業を進めました。

展示の部では「腐葉土づくりの作業や作物の収穫風景」「出前環境講座の小学校に於ける授業風景」「エコライフのゴーヤの紹介や皆様の意見」「浮島づくりのイベント風景とビデオ放映」等を展示しました。

工作の部では「どんぐり」「紙テープ」「色紙」を使った“こま作り”を親子で楽しんでももらいました。少ない椅子席などから約 60 人近くが遊んでくれ、子供たちのハサミの使い方が上手なので感心しました。

映写会の部では 2 階の会場ながら 68 人の来場者があり、遅く入って来た子のために予備のフィルムで映写をし、時間一杯一杯までかかり主催者スタッフをやきもきさせました。

昨年と比べると来場者数は少し減った感じですが、内容は濃く、各コーナーでは充実した対応がとれたと言う声が聞かれ、学生ボランティアの方々も子供たちの喜ぶように接し楽しみながら貴重な体験をされた様子でした。思いますのに「まつりと言う場」を通して親子と各コーナーの方々及びボランティアの若者たちと幅広い世代間の交わりの中で子供たちが育って欲しいものだ痛感した次第です。



親子で参加してくれました！



中学生も仲間入り！

腐葉土づくりの会活動報告 報告：澤村

第 93 回 晴天、水溜りに氷がはる、寒風の下で 3 基の切返しを実施しました！ 次回の種ジャガイモ播き前の土壌改良に熟成腐葉土を畑に散布しました！



2 月 17 日（日）10 時から、2 月になって最も寒くて水溜りに氷がはる寒風の下で、27 名の大勢が参集して、3 基の切返し作業と畑への熟成腐葉土散布を行いました。

冒頭、会長から 3 月 9 日（土）の市民環境講座（わたしたちの生活と化学物資）の開催案内があった後、事務局から作業要領を説明して作業を開始しました。

今回、1 基目の熟成腐葉土は少量しかなかったので 3 月の種ジャガイモ播き前の畑の土壌改良の散布を優先して、残ったものを頒布して空になりました。2 基目～4 基目はそれぞれ多量にあり、5 月の野菜栽培用頒布までに発酵が促進することを期待しています。

切返しは力作業なので全員で交代しながら 2 基目を 1 基目へ、3 基目を 2 基目へ、4 基目を 3 基目へ切返しを行いました。切返した後、よく踏み込みました。2 基目と 3 基目は前回、水はタップリ遣ったのですが切返しが不十分で水が奥の方まで浸みこんでいないため（衆議院の選挙で早めに終了）、落ち葉が乾いていて発酵が進んでいませんでした。最後に落ち葉を仕込んだ 4 基は、むしろ発酵が進んでいました。今回は、全て完全に切返しを行い、水もタップリ遣ったので発酵が進んで 4 月の頒布に間に合うことを期待しています。

大変寒い日でしたが、全員が力作業で身体が温くなり、お疲れ様でした。

次回、3 月 3 日（日）9 時～、種ジャガイモ播きと切返しを約束して散会しましたが、半月では腐葉土の発酵が不十分と考えられ、また両作業を一度にやるのは身体にきついで 3 月 3 日（日）に種ジャガイモ播きを、17 日（日）に切返し作業を実施するとの作業を 2 回に分ける旨を急遽、連絡網で案内をしました。

第 94 回 ！ 今年もジャガイモ 30 kg を植えました！ また 5 月の野菜植えを目指して 3 基の切返しし作業を行いました！ 今月は、2 回に分けて作業を行いました！

3 月 3 日（日）10 時から、3 月になっても朝は氷点下で北西の強風の 6℃の中、23 名が出席してジャガイモ（キタアカリ 20 kg、男爵 5 kg、メイクイン 5 kg）を植えました。前回、散会時に 3 日、9 時から切返しとジャガイモ植えを同時に実施する旨の案内をし、その後、切返し後 2 週間では発酵が不十分でしかも身体にキツイと考えて、急きょ、両作業を分けて、3 月 3 日は 10 時からジャガイモ植えだけ行うことを連絡網で案内し直しました。ところが、連絡網の途中で 10 時から開始が抜けてしまい 9 時に集合してしまった人が 6～7 人いました。40 人を超す会員なので連絡網の難しさ（思い込み？）を感じました。（前日（2 日）、会長と事務局がジョイフル本田で 30 kg のジャガイモ、抗菌灰及び化成肥料を購入しました。）

出席の時間のズレがあったので、全員の前で作業案内がなく逐次作業に入りました。事務局と既に何回かジャガイモ植えを経験している方が初めての方に作業を教えながら作業を行いました。女性群が中心に種ジャガイモを半分に切って切り口に抗菌灰を付け作業をし、男性群は 80 cm の間隔でクワを使って畝をつくり行いました。その後、全員が約 40 cm 間隔で種ジャガイモを置き、種ジャガイモの間に元肥えとして化成肥料を軽く一握り施肥して、クワや立ちガマで土を被せました。1 時間半ほどで全作業が終了しました。17 日（日）9 時から 5 月の野菜植えを目指しての腐葉土の切返しを行う旨を案内して散会しま

した。なお、ジャガイモ植えと併行して、当日、事務局がタマネギへの 2 回目の追肥を行いました。

3 月 17 日（日）、三寒四温、彼岸の入りで、2 週間前の寒さが嘘のような温かい朝、9 時から 23 人が参集して 3 基の切返し作業を行いました。会長の挨拶、事務局から作業案内をした後、全員で手分けして切返し作業を行い、最近は各位が作業を慣れてきたため、40 分程度で終了しました。

1 基は熟成が進んでいて 4 月の頒布には間に合いそうでしたが、残りの 2 基は熟成が進まず頒布ができそうもありませんでした。おそらく途中の水不足と米ぬか不足が考えられます。これから温かくなるので 5 月～6 月には熟成すると思います。

次回、4 月 21 日（日）、9 時から、切返し、熟成腐葉土の頒布、畑の草取りを行うことを約束して散会しました。また、種ジャガイモを植えてから、雨がほとんどなく、表土が乾燥して、大風が何度か吹いたため表土が飛んで、露出した種ジャガイモが散見されたため有志で土を被せました。

なお、いつも環境課からマンノ、フォークなど農具を借りていますが、出来る限り自前で作業すべく、当会の費用を使って、事務局が 2 日（土）にマンノ、フォーク、腐葉土床覆い用のビニルシートを購入しました。

平成 24 年度 第 4 回市民環境講座行われる！

テーマ名：わたしたちの生活と化学物質

報告：小谷

日時：平成 25 年 3 月 9 日（土）13：00～16：00

会場：幸手中央公民館 講座室

講師：彩の国いきがい大学准教授 新木 壽三雄氏

幸手市役所環境課 関口氏より「今正に問題になっている浮遊粒子状物質 PM2.5 が高い濃度の数値となっている」との報告があり、正にピッタリの講座になったことも併せ、関口氏より講師紹介と講座進行を進めて頂きました。

講座は、「化学物質ってなあに？」「どんな性質があるの？」「人や動植物にどのような影響があるの？」そして「上手につきあうにはどうしたらいいの？」と話しがすすめられました。

日頃は気に留めずに生活をし、身体に異常が現れたり、事故に巻き込まれてから化学物質の恐ろしさを知ることが多いのが実態であり、この一年間に安全や環境問題に関心が強いとされる企業でも化学物質に係わる大きな事故が発生した例や消費者が知識不足のため引起した事故の例が講師より紹介されました。

化学物質は、111 種類の元素からできており、広い意味では自然由来のものから、意図的また非意図的に拘わらず人工的に造りだされているものがあること。化学物質の管理等を目的にした法の整備が進められ、最近はリスク管理の考え方が法律にも導入されていること。

そして、産業活動や我々の日常生活の中で排出した化学物質が環境を通して人の健康や動植物へ悪い影響を及ぼす事を環境リスクと言い、この環境リスクや直接化学物質に曝されて受ける悪い影響を最小限にするために、化学物質のリスク評価を適切に行い、それに基づく対策を立てることが大切であると力説されました。

「有害性の高い物質は、少量でも人体や環境に悪い影響を与えることは当然ですが、有害性の低い物であっても大量に暴量すれば悪い影響がでる」という考え方で化学物質の安全性を考える事が重要とのことでした。

「私たちは化学物質のおかげで大変便利で豊かな生活を享受しています。しかし、化学物質はその性質を熟知して扱う必要があります。生産・使用・廃棄の各段階で充分なリスク管理をしましょう。」と話を締め括られました。

私たちに出来ること、「買う時には、必要なものを必要な分だけ購入、そして環境負荷の少ない製品を選ぶ」、「使う時には、使用上の注意をよく読み正しく使う」、「捨てる時には、分別を守り資源リサイクルを進める」そして「家庭排水は、河川などへの直接排水を減らして公共下水や合併浄化槽で正しく処理する」などから始めることが大事だと痛感しました。



新木講師を環境課の関口さんが紹介！

PR

埼玉県環境科学国際センター・自然環境担当部門では、県民の協力を得て「光化学スモッグによるアサガオ被害調査」を毎年行っています。幸手市でも昨年は3人が協力しました。

興味のある方は、さって市民環境ネットの中山までお電話ください。
(TEL0480-44-0320)

（報告）「5 周年記念誌」発行されました！

さって市民環境ネットの 2005 年から 2010 年までの活動内容をとりまとめしました。

幸手地域における地域環境保全と創造を推進するために、市民の側から環境活動を行う組織として発足し、取り組みを行い5年が経過したのを機に取りまとめました。是非この記念誌を皆様に読んでいただき、私たちの活動をご理解・ご支援いただければと思います。なお、今後も市との「協働」の形を保ちながら環境活動を続けたいと願っております。また、他の市民団体等の連携を深め活動の輪をより広げていきたいと思っておりますので宜しく願いいたします。

【会員募集中！】環境保全活動と一緒にやっていただく方を募集しております。是非、貴方も参加しませんか。〔さって市民環境ネット〕

★問い合わせ・申し込み ★ 久保田 修(代表まで) TEL 0480-42-1264

幸手の環境活動グループ：幸手権現堂桜堤保存会、権現堂川地域環境保全協議会、幸手自然愛護会、幸手ひがし幼稚園、エコ・グリーン幸手、くらしの会、上高野婦人会、倉松探検隊、幸手中央ロータリークラブ、すこやか「食」の会、幸ネット(子育て支援ネットワーク)、いきがい・はなみずきの会(いきがい大学伊奈学園20期)、エコクラブW32(いきがい大学鷺宮学園32期)